

H26年度 第2回高幡地域アクションプランフォローアップ会議の概要

日時：平成27年2月13日（金）14:00～16:30

場所：須崎市総合保健福祉センター 2階会議室1・2

1 議事等

(1) 地域アクションプランについて

1) 高幡地域アクションプランの進捗状況等について

- ・ 3四半期の総括及び分野別の重点的な動きについて説明（資料1）

2) 平成27年度高幡地域アクションプラン（案）について

- ・ 追加1件、拡充3件、修正5件を含めた地域アクションプラン（案）について説明
- ・ 案について承認された。

(2) 産業振興計画の改定等について

1) 第2期産業振興計画（Ver.4）の改定のポイントについて説明

2) 高知家プロモーションについて説明

3) 平成27年度移住促進策のバージョンアップについて説明

4) 平成27年度観光振興部の取り組みについて説明

【意見交換】

<高幡地域アクションプランの進捗状況等について>

- ・ 津野町森林組合では、昨年の11月から新たに貯木場を開設し、順調に木材の収集もできている。課題は、集まってきた木材を効率的に仕分けていくための機械化で、選木機の導入等が必要である。今後、バイオマス事業が始まると、小径木、C材、D材の検出、選り分けることになってくる。効率的な施設が要ると思うので、県の支援をお願いしたいと思っている。
- ・ 津野町の満天の星は、順調に経営している。お茶は、あるものをどんどん売るということで、満天の星でも菓子原材料として使っていただいている。今後、もっと販路拡大していきたい。もう一つ、シイタケの1億円達成をまたやっていこうかと進めている。少ない資源ではあるが、あるものを使っていくということで行きたい。
- ・ 観光分野では、28年度に開催する「2016奥四万十博」は、すでに認知が広がり、1市4町で協働して、また県も非常に力を入れていただき進めている。博覧会については、基本計画が策定され、実施計画を作成している。高幡地域へ来て自然と人とそれから食べ物を満喫して、デトックスされて帰るというようなことをモチーフにしてやっている。引き続きご協力をお願いしたい。
- ・ 20年前にカツオの国プロジェクトとして、かつお祭をみんなで立ち上げてから、今ようやく成果が出てきた。これまでは、市場（時価）で300円位であったが、よ

うやく普通の一般の魚と同じぐらいのレベルまでになった。1節 1,500 円、2,000 円で取り引きされるような時代が来るとは思ってなかった。大正町市場もにぎわいを取り戻しているの、また何か新しいことをみんなでやっていかないといけないと思っている。

- ・おおとよ製材ができ（CLTの関係もあるということで、）最近、比較的スギの値段が非常に安定し、林業関係者は、大変喜んでいる。実際におおとよ製材への原料の供給は、その生産能力に対してどれぐらいの状態か、また、その製品の販売状況はどうか。
→公表されている範囲では、生産体制は、去年の9月頃から1.5シフトにしていたが、今年2月へ入ってからは1シフトでやっている。年間5万㎡の生産を目指している。売り先は、銘建工業（株）と取引がある関東中心である。
- ・四万十町の豚のブランド化については、米豚、麦豚などがあるが、ばらばらにならないよう「四万十ポーク」として、四万十町全体で進めていただきたい。
- ・「シイラ加工の生産体制の強化」について、興津漁協が解散し、高知県漁協傘下に入る。高知県漁協は、興津漁協に事務所を置かないということであるが、産業振興の事業の中で、興津漁協に事務所を構え、人を置くことができないか。四万十町が事業主体となつてできないか。この事業を継続していくためにも必要でないかと思う。
→現在、四万十町、興津漁協、高知県漁協で、今後の体制について話し合われている。まだ、最終的な方向は決まっていないと聞いている。

<平成27年度高幡地域アクションプラン（案）について>

- ・新規案件のデュロックファームは、一定の雇用を目標としているが、やはり商品をお金に換えるというところが一番重要である。行政としてもその換金のところが一番力を入れて産業振興を図りたい。

<産業振興計画の改定等について>

- ・特になし

●お問い合わせ先

高知県産業振興推進部計画推進課（地域産業担当）

電話 088-823-9334

FAX 088-823-9255

メール 120801@ken.pref.kochi.lg.jp